



IVIS™

製品・テクノロジー 取り扱いマニュアル
「DRIVER」「FAIRWAY」



テーラーメイドゴルフのメタルウッド開発史において私たちは常に、業界を一新する革新的なテクノロジーを有し優れたパフォーマンスを発揮する製品を世に送り出してきました。

世界初のメタルウッド開発に成功した1979年以降、私たちは「世界で最も高性能なゴルフ製品を作る」ことを意識し、常により高みを目指しています。

私たちテーラーメイドゴルフは、長年にわたり製造と性能の限界を追い求め、「より遠くへ」、「よりまっすぐ」、そしていかにやさしく飛ばすかを極限まで追求してきました。新製品「M5 / M6ドライバー」は、この数十年にわたり継続して積み上げられてきたテーラーメイド精神を具現化した製品です。

STEP 1

ロフトスリーブ [ロフト角&ライ角調整]

M5ドライバーのロフト角は表示ロフトを基準に $\pm 2^\circ$ の範囲で12通りのポジションから選択が可能です。各ポジションでのロフト角、ライ角については、下記をご確認ください。



STEP 2

左右弾道調整 [スライディング・ウェイト・システム]

M5とM5tourドライバーのソールには、スライディング・ウェイト・システムが搭載されており、レール上の10g (2つ) のウェイトポジションを変更することで弾道のフェード・ドローの調整を可能にします。

フェード



ウェイトを(FADE)のポジションに設定すると、球のつかまり過ぎを抑制することができます。

ニュートラル



ウェイトを中央のレールの両端に設定 (HIGH・LOW)

ドロー



ウェイトを(DRAW)のポジションに設定すると、球がつかまり易くなります。

STEP 3

バックスピン量・打ち出し角調整 [スライディング・ウェイト・システム]

ソールにあるレール上のスライディング・ウェイト・システムは、10g×2個のウェイトポジションを変更することでバックスピン量の調整および打ち出し角の高低調整を可能にします。

バックスピン「増」
打ち出し角「高」

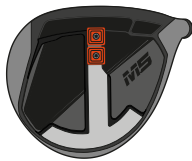
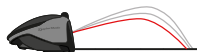
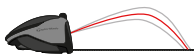
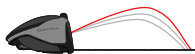
バックスピン「準」
打ち出し角「中」

バックスピン「減」
打ち出し角「低」

バックスピン「増」

スピン量

バックスピン「減」



2つのウェイトをトラック後方「FADE」と「DRAW」に1つずつ設定すると、バックスピン量が増加するとともに打ち出し角が高くなり、最もやさしいセッティングになります。

2つのウェイトをトラック中央の「LOW」と「HIGH」にそれぞれ設定すると、標準的なバックスピン量および標準的な打ち出し角を得られるセッティングになります。

2つのウェイトをトラック中央、ヘッド前方「LOW」側に設定すると、バックスピン量が減少すると共に打ち出し角が低くなるセッティングになります。

テーラーメイドM5フェアウェイウッドは、M5ドライバーと同様のロフトスリーブとスライディング・ウェイト・システムを搭載しており、各プレーヤーにとって最適な弾道を得るように設定することが可能です。

STEP 1

ロフトスリーブ [ロフト角&ライ角調整]

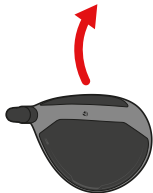
M5フェアウェイウッドのロフト角は表示ロフトを基準に $\pm 2^\circ$ の範囲で12通りのポジションから選択が可能です。設定したロフト角に連動して、ライ角も変わります。

STEP 2

左右弾道調整

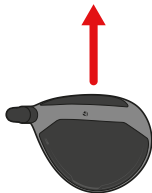
ソール側にあるスライディング・ウェイト・システムは69gのウェイトポジションを変更することで弾道のフェード・ドロウの調整を可能にします。

フェード



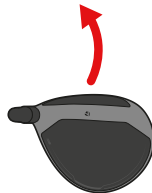
ウェイトをトゥ側に設定すると、球のつかまり過ぎを抑制することができます。

ニュートラル



ウェイトをトラック中央に設定すると設定可能なポジションの中で最大の飛距離性能を体験できます。

ドロウ



ウェイトをヒール側に設定すると、球がつかまります。

プロダクトの詳細については弊社ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.taylormadegolf.jp/>



注意事項

1. ウェイトは、研磨したり、やすりにかけたりするなどのいかなる改造、変更も決して行わないでください。適切な装着が妨げられる可能性が生じ、その結果、ウェイトがスイングの最中に外れるなど、自分自身や周りの人が負傷する恐れがあります。
2. ウェイトや各種スクリューの損傷を防ぐために、備え付けのテーラーメイド社製専用トルクレンチ以外の器具やツールによるウェイトやスクリューの取り外しや取り付けは、絶対に行わないでください。

